

①

なっぴいくん との おやくそく

なっぴい 「こんにちは。 ぼく なっぴい！！
ぼくは 奈良を 火事からまもることがおしごとなんだ。
ぼくといっしょに パトロールに でかけよう！！」

②

なっぴい 「たきびをしている人がいるね。
あれっ！？ なにかおかしいぞ！！
みんなは なにが おかしいか わかるかな・・・??」

(少し 考える 間をあけて。)

③

なっぴい 「たきびをする時は バケツに水を入れて
ちかくにおいておこうね。」

そうすると、もし火がおおきくなっても
すぐにみずをかけることが できるからね。」

(子ども達に

「どうして バケツの水が必要だと思う？」

と考えてもらう場を作ってみてもよいかと。)

④

なっぴい

「あそこで おしゃべりしている人がいるね。

あれ?! なにか おかしいぞ!!

みんなは なにか おかしいかわかるかな・・・??」

(少し考える間をあけて。)

⑤

なっぴい

「おりょうりで火をつけている時にはなれる場合は かならず火をとめないといけないね。」

「よかったね 火事にならなくて。」

⑥

なっぴい 「ここはぼくの ともだち 『まもろうくん』
のおうちだよ。『まもろうくん』のおうちはお寺なんだ。
あれ?! なにか おかしいぞ!!」

(少し考える間をあける。)

⑦

なっぴい 「お寺では タバコをすったり たき火をしたらダメだよ。
大切な お寺が火事になったら 大変だからね。
奈良には お寺や神社がたくさんあるから、
みんなで まもっていこうね。」

(間をあける)

なっぴい 「・・・ん？ 何か こげくさいにおいがする・・・??
「かじだー！！ かじだー！！」
遠くから 声がきこえてきます。

⑧

子ども 「たいへん！ なっぴい！ はやく火をけそうよ！！」

なっぴい 「あわてないで。まず 大人をよんでくるんだ。」

⑨

子ども 「まもろうくん、たいへん 火事だよ！！」

まもろうくん 「わかりました！ すぐに 119番しましょう。

『1 1 9』 『プルルルル~~~~~』

消防ですか。火事です。すぐに来てください。」

10

まもろうくんの通報をうけて　すぐに消防車がかけつきました。

ウウ~~~~！　ウウ~~！！

ぼくたちが消火します。みなさん　はなれてください！！

なっぴい 「奈良のまちを火事からまもることがぼくのしごと！！
ぼくにまかせて！！」

消防車となっぴいたちのかつやくで、ようやく火は
きえました。

12

なっぴい 「さあ、いっしょにパトロールしてくれたみんなにきいてみよう。」

●たき火をするときに必ず用意するものは何かな？

水の入ったバケツ！！

そうだね！！ 水があれば、もし火が大きくなってもすぐに消すことができるから
安心だね。

なっぴい ●おりょうりで火を使っている時、電話がなったり、お客さんがきたら、どうする？

火をけす！！

そうだね。 火をつけたまま、おしゃべりしていると、大変なことになるよ。

なっぴい ●子どもだけで 火をつかってもいいかな？

ダメー！！

そうだね。ぜったいにだめだよ。もし 火事になった時も子どもだけで火を
消そうとせずすぐに 大人をよぶんだよ。

「ぼくとの おやくそく まもろうね！！」